

◆年間指導計画例 【2年】

領域〈系統〉教材名 ・ ページ数・配当時数 (他は他教科との関連)	学習指導要領との対応 (下線は重点)	学習目標	学習活動例 (*は指導上の留意点や別案)	評価規準例 (◎は重点)
(4月 3時間)				
読む〈詩(巻頭詩)〉 未来へ 巻頭 1時間	【 <u>思判表</u> 】C(1) <u>イ</u> ㊦C(2)イ	・ 詩に描かれていることを解釈し、読み方を工夫して音読する。	1 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。 2 比喩的な表現も含めて、各連で表されている時の流れに注意して詩の意味を捉え、読み方を工夫して音読する。	【 <u>思判表</u> 】◎「読むこと」において、詩に描かれた言葉の意味などについて考え、内容を解釈している。 【 <u>主</u> 】・進んで各連に描かれていることを手がかりに詩の意味を考え、学習課題に沿って、工夫して音読しようとしている。
読む〈言葉の学習〉 手紙の効用 P14 2時間 他書写	【 <u>知技</u> 】(1)エ 【 <u>思判表</u> 】C(1) <u>オ</u> ㊦C(2)イ	・ 読み取ったことを踏まえ、自分の知識や体験も交えて、考えを広げる。	1 タイトル下の問いかけ(P14)を確認し、学習の見通しを持つ。 2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。 3 手紙の持つ意味に注意して筆者の考えを捉え、手紙に関する自分の知識や体験を交えて、考えたことを話し合う。	【 <u>知技</u> 】・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、文章を読むことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【 <u>思判表</u> 】◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 【 <u>主</u> 】・進んで自分の知識や体験と結び付けて筆者の考えを捉え、学習課題に沿って自分の考えを話し合おうとしている。
1 言葉を感じる(4~5月 7時間)				
読む〈言語感覚〉 短歌を楽しむ／短歌五首 P18 2時間	【 <u>知技</u> 】(1)エ 【 <u>思判表</u> 】C(1) <u>イエ</u> ㊦C(2)イ	・ 短歌に詠まれた情景や心情を想像し、短歌を読み味わう。 ・ 短歌の表現の工夫などに注意して、鑑賞したことをまとめる。	1 タイトル下の問いかけ(P18)や「てびき」の目標(P22)を確認し、学習の見通しを持つ。 2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。 3 設問①(P22)に取り組み、三首の短歌について情景や心情を捉え、音読して読み味わう。 4 設問②に取り組み、「短歌五首」のそれぞれの歌に詠まれている情景や心情を想像したり、気に入った歌	【 <u>知技</u> 】・情景や心情を表す語句の量を増すとともに、短歌を鑑賞することを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【 <u>思判表</u> 】◎「読むこと」において、短歌に詠まれた情景や心情を想像して、内容を解釈している。 【 <u>思判表</u> 】◎「読むこと」において、短歌を比較するなどし、表現の効果について考えている。 【 <u>主</u> 】・進んで短歌に詠まれた情景や心情を想像し、学

			<p>を暗唱したりする。</p> <p>5 設問③に取り組み、「短歌五首」（あるいは、「扉の短歌七首」を加えた十二首）から一首を選び、表現の工夫などを捉えて、鑑賞したことをまとめる。</p> <p>*「言葉の力 短歌を鑑賞する」を読んで、短歌を鑑賞するときのポイントを理解する。</p> <p>*鑑賞したことをグループやクラスで発表し合うのもよい。</p> <p>6 「振り返り」を読み、学習を振り返って、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>習課題に沿って、表現の工夫などについて鑑賞したことをまとめようとしている。</p>
<p>書く（詩歌創作）</p> <p>短歌のリズムで表現しよう</p> <p>P 23 3 時間</p>	<p>【思判表】 B(1) エ</p> <p>㊦ B(2)ウ</p>	<p>・自然や体験を題材に、表現を練りあげて短歌を作る。</p>	<p>1 教材冒頭（P23）の問いかけと目標を確認し、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 手順①～③（P23～25）に取り組み、表現を練りあげて短歌を作る。</p> <p>*「言葉の力 表現を練りあげる」（P24）を読んで、描き方の工夫についてのポイントを確認する。</p> <p>3 「振り返り」（P25）を読み、学習を振り返って、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>【思判表】◎「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、短歌を整えている。</p> <p>【主】・表現を練りあげることに粘り強く取り組み、学習課題に沿って短歌を作ろうとしている。</p>
<p>言葉（日本語探検）</p> <p>話し言葉と書き言葉 ——おしゃべり星人と ふでまめ星人</p> <p>P 26 1 時間</p>	<p>【知技】(1)イ</p>	<p>・話し言葉と書き言葉の特徴について理解する。</p>	<p>1 教材（P26～27）を読んで、話し言葉と書き言葉の違いや、それぞれの特徴が話や文章の中でどのように表れているかを大まかにつかむ。</p> <p>2 「まとめ」（P27）を読んで、話し言葉と書き言葉の違いや、それぞれの特徴について理解する。適宜、漢字を確認する。</p>	<p>【知技】◎話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。</p> <p>【主】・進んで話し言葉と書き言葉の特徴について理解し、見通しを持って学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。</p>
<p>言葉（漢字道場）</p> <p>形の似た漢字</p> <p>P 28 1 時間</p>	<p>【知技】(1)ウ</p>	<p>・形の似た漢字に注意して、漢字を文や文章の中で使う。</p>	<p>1 問題①～④（P28）に取り組み、部首だけが違う形が似た漢字や、全体の形が似た漢字があること、一面の有無が違う漢字になることなどを理解する。</p>	<p>【知技】◎形の似た漢字について理解し、漢字を文や文章の中で使っている。</p> <p>【主】・進んで形の似た漢字について理解し、学習課題に沿って学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。</p>
<p>2 感想を深める（5～6月 14時間）</p>				

<p>読む〈文学一〉 字のない葉書</p> <p>P 30 3 時間</p> <p>他社会（歴史）</p>	<p>【知技】(1)エ 【思判表】C(1) アイオ 活C(2)イ</p>	<p>・登場人物の言葉や行動の意味を考えて、作品を読み味わう。</p> <p>・作品から読み取ったことをもとに、自分の考えを深める。</p>	<p>1 タイトル下の問いかけ（P30）や「てびき」の目標（P34）を確認し、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。</p> <p>3 設問①～②（P34）に取り組み、登場人物の言葉や行動・態度から、人物像や心情を捉え、作品を読み味わう。</p> <p>*「言葉の力 登場人物の言葉や行動の意味を考える」を読んで、登場人物の言葉や行動から心情を捉えるときのポイントを理解する。</p> <p>4 設問③に取り組み、大人になった「私」の思いについて想像し、話し合う。</p> <p>5 「振り返り」を読み、学習を振り返って、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>【知技】・人物像を表す語句の量を増すとともに、文章を読むことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>【思判表】・「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の人物像などを捉えている。</p> <p>【思判表】◎「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考え、内容を解釈している。</p> <p>【思判表】◎「読むこと」において、文章を読んで考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>【主】・進んで登場人物の言葉や行動の意味を考え、学習課題に沿って、作品から読み取ったことをもとに考えを話し合おうとしている。</p>
<p>学びの扉／学びを支える 言葉の力〈文学的な言葉の力——解釈する力〉 人物像を捉える</p> <p>P 35／P 242 1 時間</p>	<p>【思判表】C(1) ア</p>	<p>・人物の言動の意味に注意して、人物像を捉える。</p>	<p>1 教材（P35）を読んで、京子の行動から人物像を考える。</p> <p>2 基「人物像を捉える」（P242～245）を読んで、人物像の捉え方や多面性について理解を深め、人物の言葉や行動・態度から人物像を捉える。</p> <p>*Dこの教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	<p>【思判表】◎「読むこと」において、人物の言動の意味に注意しながら、人物像を捉えている。</p> <p>【主】・進んで人物像の捉え方や多面性について理解し、学習課題に沿って人物像を捉えようとしている。</p>
<p>読む〈文学一〉 辞書に描かれたもの</p> <p>P 36 4 時間</p>	<p>【知技】(1)エ 【思判表】C(1) アイオ 活C(2)イ</p>	<p>・登場人物の言葉や行動の意味を考えて、作品を読み味わう。</p> <p>・作品から読み取ったことをもとに、自分の考えを深める。</p>	<p>1 タイトル下の問いかけ（P36）や「てびき」の目標（P44）を確認し、学習の見通しを持つ。</p> <p>*「字のない葉書」と共通の目標であり、前の学びを生かしていくことを確認するとよい。</p> <p>2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。</p> <p>3 設問①～②（P44）に取り組み、登場人物の言葉や行動・態度から人物像や考え方を捉え、作品を読み味</p>	<p>【知技】・人物像を表す語句の量を増すとともに、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>【思判表】・「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えている。</p> <p>【思判表】◎「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考え、内容を解釈している。</p>

			<p>わう。</p> <p>*「言葉の力 登場人物の言葉や行動の意味を考える」(P34)を参照し、ポイントを振り返るとよい。</p> <p>*前の「人物像を捉える」(P35/基P242~245)で学んだことを生かして取り組むとよい。</p> <p>4 設問③に取り組み、小説を読んで考えたことをまとめ、話し合う。</p> <p>5 「振り返り」を読み、学習を振り返って、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p> <p>6 「広がる言葉」(P45)に取り組み、語感を磨き語彙を増やす。</p> <p>*資「言葉を広げよう——人物像を表す言葉」(P332~333)を見て、語彙を増やすための参考にするとよい。</p> <p>*この教材に加えて、資「カメレオン」(P270~275)を読み、人物の言動から人物像を捉える学習を深めるのもよい。</p>	<p>【思判表】◎「読むこと」において、文章を読んで考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>【主】・進んで登場人物の言葉や行動の意味を考え、学習課題に沿って、作品から読み取ったことをもとに考えを話し合おうとしている。</p>
<p>学びの扉／学びを支える言葉の力〈対話的な言葉の力——伝え合う力〉</p> <p>相手の立場を踏まえ、考えを深める</p> <p>P46/P250 1時間</p>	<p>【思判表】 A(1) エ</p>	<p>・相手の立場や考えを理解し、自分の考えを深める。</p>	<p>1 教材(P46)を読んで、純平の発言の何がよくなったのかを考える。</p> <p>2 基「相手の立場を踏まえ、考えを深める」(P250~253)を読んで、自分と相手の考えが異なるときの、相手の考えの受け止め方について理解を深め、相手の立場や考えを踏まえて自分の考えを深める。</p> <p>*Dこの教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	<p>【思判表】◎「話すこと・聞くこと」において、相手の立場や考えを踏まえて自分の考えをまとめている。</p> <p>【主】・進んで相手の考えの受け止め方について理解を深め、学習課題に沿って、相手の立場や考えを踏まえて自分の考えを深めようとしている。</p>
<p>話す・聞く〈聞く〉</p> <p>考えを比べながら聞こう</p>	<p>【知技】 (2)ア 【思判表】 A(1) エ</p>	<p>・相手の考えとその根拠に注意して話を聞き、自分の考え</p>	<p>1 教材冒頭(P47)の問いかけと目標を確認し、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 手順①~③(P47~49)に取り組み、ある話題に対</p>	<p>【知技】・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>【思判表】◎「話すこと・聞くこと」において、論理の</p>

<p>P 47 2 時間</p> <p>㊦ A(2)ア</p>		<p>と比べる。</p>	<p>する複数の発言から、それぞれの考えと根拠を聞き取り、自分の考えと比べる。</p> <p>*「言葉の力 自分の考えと比べながら聞く」(P 49)を読んで、相手の考えと自分の考えとを比べながら聞く際のポイントを確かめる。</p> <p>3 問題 (P 49) に取り組み、相手の考えとその根拠に注意して話を聞き、自分の考えと比べる。</p> <p>4 「振り返り」(P 49) を読み、学習を振り返って、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p> <p>*Dこの教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	<p>展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。</p> <p>[主]・相手の考えとその根拠を聞き取ることに粘り強く取り組み、学習課題に沿って、聞き取った考えと自分の考えとを比べようとしている。</p>
<p>言葉〈日本語探検〉 敬語——宇宙人「ハテナー」がいらっしゃる？</p> <p>P 50 2 時間</p>	<p>[知技] (1)カ</p>	<p>・敬語の働きや使い方について理解し、話や文章の中で使う。</p>	<p>1 教材 (P 50～51) を読んで、さまざまな種類の敬語が話や文章の中でどのように使われているかを大まかにつかむ。</p> <p>2 「まとめ」(P 51) を読んで、敬語の種類や使い方について理解する。</p> <p>3 資「敬語のまとめ」(P 306) を読んで、敬語の種類や使い方について理解を深める。</p>	<p>[知技]◎敬語の働きや使い方について理解し、話や文章の中で使っている。</p> <p>[主]・進んで敬語の働きや使い方について理解し、見通しを持って敬語を話や文章の中で使おうとしている。</p>
<p>言葉〈漢字道場〉 他教科で学ぶ漢字(1)</p> <p>P 52 1 時間</p> <p>他社会・数学・理科・技術・家庭・保健体育</p>	<p>[知技] (1)ウ</p>	<p>・他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し、漢字を文や文章の中で使う。</p>	<p>1 問題 (P 52) に取り組み、社会、数学、理科、技術、家庭、保健体育で学ぶ語句に用いられる漢字を確認する。</p> <p>*他教科の教科書を適宜参照し、その漢字が含まれる語句を学ぶ時期や、その漢字が使われている文脈を確認するのもよい。</p>	<p>[知技]◎他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し、漢字を文や文章の中で使っている。</p> <p>[主]・進んで他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し、学習課題に沿って学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。</p>
<p>3 伝え方を工夫する (6～7 月 16 時間)</p>				
<p>学びの扉／学びを支える 言葉の力〈論理的な言葉の力——整理する力〉</p>	<p>[知技] (2)イ [思判表] C(1) イ</p>	<p>・複雑な情報の整理の仕方を理解し、情報を図や表に整理</p>	<p>1 教材 (P 54) を読んで、複雑な情報を理解するにはどうしたらよいかを考える。</p> <p>2 基「情報を図や表に整理する」(P 230～233) を読</p>	<p>[知技]◎情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。</p> <p>[思判表]◎「読むこと」において、目的に応じて複数</p>

<p>情報を図や表に整理する</p> <p>P 54 / P 230</p> <p>1 時間</p> <p>他理科</p>		<p>する。</p>	<p>んで、複雑な情報の整理の仕方について理解を深め、情報を囲みや矢印を使って整理したり、表を使って整理したりする。</p> <p>* D この教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	<p>の情報を整理している。</p> <p>[主] ・進んで複雑な情報の整理の仕方を理解し、学習課題に沿って情報を図や表に整理しようとしている。</p>
<p>読む〈構成・展開〉 ハトはなぜ首を振って歩くのか</p> <p>P 55</p> <p>4 時間</p>	<p>[知技] (1)エ(2)アイ</p> <p>[思判表] C(1)アイウ</p> <p>活 C(2)ア</p>	<p>・まとまりどうしの関係に注意して文章の構成を捉え、内容を読み取る。</p> <p>・文章と図表を結び付けて読み、図表の役割を考える。</p>	<p>1 タイトル下の問いかけ (P 55) や「てびき」の目標 (P 62) を確認し、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。</p> <p>3 設問①～② (P 62) に取り組み、文章の構成を捉えたり、実験の内容を図や表に整理したりして、内容を読み取る。</p> <p>* 前の「情報を図や表に整理する」(P 54 / 基 P 230～233) で学んだことを生かして取り組むとよい。</p> <p>4 設問③～④) に取り組み、文章中の図や表の役割について話し合ったり、文章の内容を図や矢印を使って説明したりする。</p> <p>* 「言葉の力 文章と図表などを結び付けて理解する」を読んで、文章と図表を結び付けて読むときのポイントを理解する。</p> <p>5 「振り返り」を読み、学習を振り返って、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p> <p>6 「広がる言葉」(P 63) に取り組み、語感を磨き語彙を増やす。</p> <p>* 資 「言葉を広げよう——比喩的に使われる言葉」(P 333～334) を見て、語彙を増やすための参考にするとよい。</p> <p>* この教材と併せて、資 「スズメは本当に減っているか」(P 276～281) を読み、文章の構成や図表の役割、</p>	<p>[知技] ・多義的な意味を表す語句について理解し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>[知技] ・考えと根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>[知技] ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。</p> <p>[思判表] ◎「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、考えと根拠との関係などを捉えている。</p> <p>[思判表] ・「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。</p> <p>[思判表] ◎「読むこと」において、文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈している。</p> <p>[主] ・進んでまとまりどうしの関係に注意しながら文章の構成を捉え、学習課題に沿って、図や表の役割について話し合ったり、図を使って説明したりしようとしている。</p>

			科学的なものの見方について考えるのもよい。	
書く〈伝達〉 郷土のよさを伝えよう ——「地域の魅力」の紹介文 P 64 6 時間 他社会（地理）	【知技】(1)アオ 【思判表】 B(1) アエ 活 B(2)イ	・身近な地域の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを絞り込む。 ・読み手を意識しながら、表現の効果などを確かめて、文章を推敲する。	1 教材冒頭（P64）の問いかけと目標を確認し、「学習の流れ」を見て、見通しを持つ。 2 手順①～⑤（P65～69）に取り組み、伝えたい「地域の魅力」についての情報を集め、紹介文を書く。 *【資】「言葉の力 情報を集める／より効果的に伝わるように推敲する」（P67, 68）を読んで、情報の集め方や、効果的に伝えるための推敲のポイントを確かめる。 *【資】「発想・整理の方法」（P300）を見て、材料を集めたり整理したりする際の参考にするのもよい。 *【資】「取材の仕方」（P301）を見て、インタビューする際の参考にするのもよい。 *【資】「著作権について考える」（P305）を見て、情報を集めたり引用したりする際の参考にするのもよい。 *【資】「原稿用紙の使い方・推敲の観点」（P304）を見て、推敲する際の参考にするのもよい。 3 「振り返り」（P69）を読み、学習を振り返って、学んだことを自分の言葉でまとめる。	【知技】・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。 【知技】・文章の構成や展開について理解を深めている。 【思判表】◎「書くこと」において、目的や意図に応じて、身近な地域の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 【思判表】◎「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。 【主】・積極的に情報を集め、学習の見通しを持って、より効果的に伝わるように紹介文を推敲しようとしている。
言葉〈文法の窓／文法解説〉 用言の活用——ばらばら動詞カードをかたづけろ P 70／P 256 2 時間	【知技】(1)オ	・単語の活用について理解する。	1 教材（P70）を読んで、動詞を活用形によって整理する。また、「考えよう」に取り組む。 2 基「用言の活用」（P256～259）を読んで、用言の活用形の種類や、動詞・形容詞・形容動詞それぞれの活用の仕方について理解を深める。また、「問題」1～4（P259）に取り組む。 *【D】この教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。	【知技】◎単語の活用について理解している。 【主】・進んで単語の活用について理解し、学習課題に沿って学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。
言葉〈漢字道場〉 漢字の意味 P 71	【知技】(1)ウ	・漢字の意味を理解して、漢字を文や文章の中で使う。	1 問題①～④（P71）に取り組み、似た意味や反対の意味の漢字の組があること、多くの漢字が複数の意味を持つことなどを理解する。	【知技】◎漢字の意味を理解し、漢字を文や文章の中で使っている。 【主】・進んで漢字の意味を理解し、学習課題に沿って

1 時間				学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。
読む〈読書〉 卒業ホームラン P 72 2 時間	【知技】(3)エ 【思判表】 C(1) オ ㊦ C(2)イ	・読書の意義を知り、 おすすめの本の魅力を紹介し合う。	1 タイトル下の問いかけ (P 72) と「ビブリオバトルをしよう」(P 88)を確認し、学習の見通しを持つ。 2 「卒業ホームラン」全文を通読し、登場人物の言葉や行動がどんな意味を持っているか、話し合う。適宜、漢字を確認する。 3 「ビブリオバトルをしよう」を参考に、ビブリオバトルでおすすめの本を紹介し合う。 *これまでに読んだ本や、「本で世界を広げよう〈考え方・生き方〉」(P 86～87)で紹介されている本を活用してもよい。 *㊦「私のおすすめの本」(P 285)、「本の世界を楽しもう」(P 286～289)を見て、今後の読書生活の参考にするのもよい。	【知技】◎本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。 【思判表】◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主】・進んで読書の意義について理解を深め、これまでの学習を生かして、自分のおすすめの本の魅力を伝えようとしている。
4 説得力を高める (9～10 月 20 時間)				
読む〈吟味・判断〉 黄金の扇風機／サハラ 砂漠の茶会 P 90 5 時間 ㊦社会 (公民)・美術	【知技】(1)エ, (2) ア 【思判表】 C(1) エオ ㊦ C(2)ア	・文章を読み比べて、 論の進め方について考える。 ・文章の内容について、 自分の知識や体験と結び付けて考えを深める。	1 タイトル下の問いかけ (P 90) や「てびき」の目標 (P 98)を確認し、学習の見通しを持つ。 2 「黄金の扇風機」全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。 3 「サハラ砂漠の茶会」全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。 4 設問①～②に取り組み、それぞれの筆者がどのような根拠からどのような主張をしているかを読み取る。 5 設問③に取り組み、二つの文章の内容を踏まえて、「美」について、条件に従って自分の考えを書く。 *「言葉の力 読み比べて考えを深める」を読んで、複数の文章を読み比べる時のポイントを理解する。 6 「振り返り」を読み、学習を振り返って、学んだことを自分の言葉でまとめる。 7 「広がる言葉」(P 99)に取り組み、語感を磨き語	【知技】・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【知技】・考えと根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 【思判表】◎「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較し、文章の構成や論理の展開について考えている。 【思判表】◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主】・進んで文章を読み比べ、学習課題に沿って、自分の体験や経験をもとに自分の考えを書こうとしている。

			彙を増やす。 * 資 「言葉を広げよう——接頭語・接尾語を伴う言葉」(P334)を見て、語彙を増やすための参考にするとよい。	
学びの扉／学びを支える言葉の力〈論理的な言葉の力——分析する力〉 論証の説得力を見極める P100／P234 1時間	【知技】 (2)ア 【思判表】 B(1)ウ	・論証の組み立てを捉え、説得力があるかどうかを吟味する。	1 教材(P100)を読んで、考えの説得力をどのように見極めたらよいかを考える。 2 【基】 「論証の説得力を見極める」(P234～237)を読んで、論証の説得力について理解を深め、結論と根拠の関係を吟味する。 * 【D】 この教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。	【知技】 ◎説得力のある結論と根拠の関係について理解している。 【思判表】 ◎「書くこと」において、根拠の正しさや、結論と根拠の結び付きの適切さに注意して、論証を吟味している。 【主】 ・進んで論証の説得力について理解し、学習課題に沿って結論と根拠の関係を吟味しようとしている。
書く〈論証・説得〉 根拠を吟味して書こう——「地図」の意見文 P101 6時間 【他】 社会(地理)	【知技】 (1)オ、(2)ア 【思判表】 B(1)イウ 【活】 B(2)ア	・自分の考えが伝わる文章になるよう、根拠の適切さについて吟味する。 ・文章の構成を工夫し、分かりやすく説得力のある意見文を書く。	1 教材冒頭(P101)の問いかけと目標を確認し、「学習の流れ」を見て、見通しを持つ。 2 手順①～⑤(P102～105)を読んで、分かりやすく説得力のある意見文の書き方を確認する。 *「言葉の力 根拠を吟味する／分かりやすい構成で意見文をまとめる」(P103, 105)を読んで、根拠を吟味するポイントや、意見文に適した構成を確かめる。 *前の「論証の説得力を見極める」(P100/ 【基】 P234～237)で学んだことを生かして取り組むとよい。 3 手順①～⑤に従って「問題」(P106)に取り組み、根拠を吟味して意見文を書く。 4 「振り返り」(P106)を読み、学習を振り返って、学んだことを自分の言葉でまとめる。	【知技】 ・文章の構成や展開について理解を深めている。 【知技】 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 【思判表】 ◎「書くこと」において、伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。 【思判表】 ◎「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 【主】 ・根拠を吟味したり構成を工夫したりすることに粘り強く取り組み、学習の見通しを持って、分かりやすく説得力のある意見文を書こうとしている。
話す・聞く〈話す〉 説得力のある提案をしよう——プレゼンテーション P107	【知技】 (1)アオ、(2)アイ 【思判表】 A(1)イウ	・聞き手に納得してもらうために、説得力のある話の構成を考える。 ・資料や機器を活用	1 教材冒頭(P107)の問いかけと目標を確認し、「学習の流れ」を見て、見通しを持つ。 2 手順①～⑤(P108～112)に取り組み、グループごとに提案を決めてプレゼンテーションをする。 *「言葉の力 説得力のある話の構成を考える／資料や	【知技】 ・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。 【知技】 ・話の構成や展開について理解を深めている。 【知技】 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。

5時間	㊦ A(2)ア	して、分かりやすく印象的に話す。	<p>機器を活用する」(P109, 110)を読んで、説得力のある話の組み立て方や、資料や機器を生かした発表の仕方を確かめる。</p> <p>3 「振り返り」(P112)を読み、学習を振り返って、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p> <p>*Dこの教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	<p>[知技]・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。</p> <p>[思判表]◎「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。</p> <p>[思判表]◎「話すこと・聞くこと」において、資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。</p> <p>[主]・説得力のある話の構成を考えることに粘り強く取り組み、学習の見通しを持って、資料や機器を活用したプレゼンテーションをしようとしている。</p>
言葉〈文法の窓／文法解説〉 助詞——文よ、助詞で大きく育て P113／P260 1時間	[知技] (1)オ	・助詞の働きについて理解する。	<p>1 教材(P113)を読んで、多くの助詞を使った文を作る。また、「考えよう」に取り組む。</p> <p>2 基「助詞」(P260～261)を読んで、助詞の種類や働きについて理解を深める。また、「問題」1～2(P261)に取り組む。</p> <p>*Dこの教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	<p>[知技]◎助詞の働きについて理解している。</p> <p>[主]・進んで助詞の働きについて理解し、学習課題に沿って学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。</p>
言葉〈漢字道場〉 同訓異字 P114 1時間	[知技] (1)ウエ	・同訓異字について理解し、話や文章の中で適切に使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。	<p>1 「用言の同訓異字」(P114～115)を読んで、動詞には同訓異字が多くあることを知り、「問題」1～2に取り組む。</p> <p>2 「体言の同訓異字」(P115)を読んで、体言にも同訓異字があることを知り、「問題」3に取り組む。</p>	<p>[知技]・同訓異字について理解し、漢字を文や文章の中で使っている。</p> <p>[知技]◎同訓異字について理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>[主]・進んで同訓異字について理解し、見通しを持って学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。</p>
読む〈詩(日本語のしらべ)〉 落葉松 P116 1時間	[思判表] C(1) エ ㊦ C(2)イ	・詩に描かれた情景や心情を捉え、リズムを感じ取りながら朗読する。	<p>1 全文を通して、内容を大まかにつかむ。 *古語や文語文法による表現については、適宜、意味を確認する。</p> <p>2 詩に描かれた情景や心情を捉え、リズムを感じ取りながら朗読する。</p>	<p>[思判表]◎「読むこと」において、詩全体と部分との関係に注意しながら、場面の設定の仕方などを捉えている。</p> <p>[主]・進んで詩に描かれた情景や心情を捉え、学習課題に沿って朗読しようとしている。</p>

			3 「詩人と作品」(P118)を読み、北原白秋について知る。	
5 伝統文化を味わう(10~11月 17時間)				
古典 枕草子・徒然草 P120 4時間 他社会(歴史)	【知技】(3)イ 【思判表】B(1) 立, C(1)エ	・筆者のものの見方や考え方、表現の仕方を捉える。 ・見聞きしたことや体験したことをもとに、表現を工夫して随筆を書く。	1 タイトル下の問いかけ(P120)や「てびき」の目標(P127)を確認し、学習の見通しを持つ。 2 「枕草子・徒然草」の解説(P120)を読み、随筆の特徴を知る。そのうえで、「春はあけぼの」(P120~121)を読む。適宜、漢字を確認する。 3 「枕草子」の解説(P122)を読み、筆者の人物像や作品の特徴を知る。そのうえで、「九月ばかり」(P123)を読み、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字を確認する。 4 設問①(P127)に取り組み、筆者が「をかし」と感じたものを捉える。 5 「徒然草」の解説と「つれづれなるままに」(P124~125)を読み、「徒然草」の筆者の人物像や作品の特徴、「枕草子」の作品世界との違いを知る。そのうえで、「仁和寺にある法師」(P126)を読み、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字を確認する。 6 設問②に取り組み、作品に描かれた人物の言動を踏まえて、筆者の考えを捉える。 *「古典コラム 係り結び」の内容にも触れ、係り結びについて確認する。 7 設問③に取り組み、「枕草子」と「徒然草」からよい表現やおもしろい目のつけどころを探して発表し合う。 8 設問④に取り組み、「枕草子」や「徒然草」に倣って、見聞きしたことや体験したことをもとに、短い随筆を書く。 9 「振り返り」を読み、学習を振り返って、学んだこ	【知技】◎現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を理解している。 【思判表】◎「書くこと」において、表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 【思判表】・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較し、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。 【主】・進んで古典に表れたものの見方や考え方を捉え、学習課題に沿って、表現を工夫しながら随筆を書こうとしている。

			<p>とを自分の言葉でまとめる。</p> <p>*この教材と併せて、資「書き手の肖像——清少納言と兼好法師」(P290～292)を読み、二人の筆者の人物像や、それぞれの作品に込められた思いなどについて理解を深めるのもよい。</p> <p>*Dこの教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	
<p>古典 平家物語</p> <p>P128 4時間</p> <p>他社会(歴史)</p>	<p>[知技] (3)アイ [思判表] C(1) 才</p>	<p>・表現の特徴に注意して朗読し、古典の世界に親しむ。</p> <p>・描かれた状況や心情を読み取り、武士の価値観や生き方について考える。</p>	<p>1 タイトル下の問いかけ(P128)や「てびき」の目標(P141)を確認し、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 「平家物語」の解説(P128～129)を読み、作品の成り立ちや概要を知る。適宜、漢字を確認する。</p> <p>3 「祇園精舎」(P129)を読み、そこに表れた当時の世界観に触れる。適宜、漢字を確認する。</p> <p>*更に、『平家物語』の時代に生きた人々とその関係」(P130)、「源平の合戦」(P131～134)で作品の背景を確かめたり、「敦盛の最期」(P135)、「平家の最期とその後の物語」(P136)で作品中の他のエピソードを知ったりするのもよい。</p> <p>4 「那須与一」(P137～139)を読み、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字を確認する。</p> <p>5 設問①(P141)に取り組み、表現の特徴に注意して古文を朗読する。</p> <p>*「古典コラム 文体を味わう」を適宜参照し、表現の特徴を確認する。</p> <p>6 設問②に取り組み、場面の状況や登場人物の心情について話し合う。</p> <p>7 「弓流」(P140)を読み、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字を確認する。</p> <p>8 設問③に取り組み、当時の武士の価値観や生き方について考えたことをまとめる。</p>	<p>[知技] ◎作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。</p> <p>[知技] ・現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。</p> <p>[思判表] ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>[主] ・進んで朗読して古典の世界に親しみ、学習課題に沿って、武士の価値観や生き方について考えをまとめている。</p>

			<p>9 「振り返り」を読み、学習を振り返って、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p> <p>*Dこの教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	
<p>古典 漢詩</p> <p>P 142 3 時間</p>	<p>[知技] (3)ア [思判表] C(1) エ</p>	<p>・表現の特徴に注意して朗読し、漢詩を味わう。</p> <p>・情景を描いた表現の効果について考える。</p>	<p>1 タイトル下の問いかけ (P142) や「てびき」の目標 (P145) を確認し、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 「漢詩」の解説 (P142) を読み、漢詩について知る。適宜、漢字を確認する。</p> <p>3 「春暁」(P142) と「黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る」(P143) を読み、鑑賞文や脚注を手がかりにして内容を大まかにつかむ。適宜、漢字を確認する。</p> <p>4 設問①～③ (P145) に取り組み、朗読・暗唱を通して漢詩を味わい、漢詩に描かれている情景・心情や、表現上の特徴を捉える。</p> <p>*古典コラム「漢詩の形式」を適宜参照し、漢詩の形式を確認する。</p> <p>5 「春望」(P144) についても、3～4の手順で学習する。</p> <p>6 設問④に取り組み、漢詩に表れた情景描写の効果について考え、話し合う。</p> <p>7 「振り返り」を読み、学習を振り返って、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p> <p>*この教材と併せて、資「望郷の詩——杜甫と李白」(P293～295) を読み、作者の人物像や作品世界について理解を深めるのもよい。</p> <p>*Dこの教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	<p>[知技] ◎作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。</p> <p>[思判表] ◎「読むこと」において、観点を明確にして漢詩を比較するなどし、漢詩の構成や表現の効果について考えている。</p> <p>[主] ・進んで漢詩を朗読し、学習課題に沿って、情景を描いた表現の効果について話し合おうとしている。</p>
<p>書く (通信・手紙)</p>	<p>[知技] (1)アカ</p>	<p>・読み手を意識して、</p>	<p>1 教材冒頭 (P146) の問いかけと目標を確認し、学</p>	<p>[知技] ・言葉には、相手の行動を促す働きがあること</p>

<p>依頼状やお礼状を書こう</p> <p>P 146 3 時間</p> <p>他書写</p>	<p>【思判表】 B(1) エ ④ B(2)イ</p>	<p>的確な表現になるように文章を推敲する。</p>	<p>習の見通しを持つ。</p> <p>2 手順①～② (P 146～147) に取り組み、職場体験の依頼状を推敲し、お礼状を書く。</p> <p>*「言葉の力 手紙を推敲する」(P 146) を読んで、手紙を推敲する際のポイントを確認する。</p> <p>*手紙を書く際、「時候の挨拶」(P 148) を適宜参考にするのもよい。</p> <p>*手紙の形式については、資「手紙の書き方」(P 302～303) を見て確認する。</p> <p>3 「振り返り」(P 147) を読み、学習を振り返って、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p> <p>*Dこの教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	<p>に気づいている。</p> <p>【知技】・敬語の働きについて理解し、文章の中で使っている。</p> <p>【思判表】◎「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。</p> <p>【主】・進んで読み手を意識して推敲し、学習課題に沿って依頼状やお礼状を書こうとしている。</p>
<p>言葉〈文法の窓／文法解説〉 助動詞——絵と助動詞を合わせよう</p> <p>P 149／P 262 2 時間</p>	<p>【知技】(1)オ</p>	<p>・助動詞の働きについて理解する。</p>	<p>1 教材 (P 149) を読んで、示されたイラストと助動詞の組み合わせを考える。また、「考えよう」に取り組む。</p> <p>2 基「助動詞」(P 262～265) を読んで、助動詞の種類や意味について理解を深める。また、「問題」1～3 (P 265) に取り組む。</p> <p>*Dこの教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	<p>【知技】・助動詞の働きについて理解している。</p> <p>【主】・進んで助動詞の働きについて理解し、学習課題に沿って学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。</p>
<p>言葉〈漢字〉 他教科で学ぶ漢字(2)</p> <p>P 150 1 時間</p> <p>他社会・理科・技術・家庭・保健体育</p>	<p>【知技】(1)ウ</p>	<p>・他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し、漢字を文や文章の中で使う。</p>	<p>1 問題 (P 150) に取り組み、社会、理科、技術、家庭、保健体育で学ぶ語句に用いられる漢字を確認する。</p> <p>*他教科の教科書を適宜参照し、その漢字が含まれる語句を学ぶ時期や、その漢字が使われている文脈を確認するのもよい。</p>	<p>【知技】◎他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し、漢字を文や文章の中で使っている。</p> <p>【主】・進んで他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し、学習課題に沿って学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。</p>

6 描写を味わう (11～12月 10時間)				
読む〈文学二〉 走れメロス P152 6時間	[知技] (1)エ [思判表] C(1) アイエ ㊦ C(2)イ	<ul style="list-style-type: none"> 人物像を捉え、人物の言動について考えながら、作品を読み深める。 場面の展開や表現の効果について考える。 	1 タイトル下の問いかけ (P152) や「てびき」の目標 (P169) を確認し、学習の見通しを持つ。 2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。 3 設問①～④ (P169) に取り組み、人物や情景の効果的な描写に着目して作品を読み深める。 *「言葉の力 人物像に着目する」を読んで、人物像について理解する。 4 設問⑤に取り組み、場面の展開や表現の効果について話し合う。 5 「振り返り」を読み、学習を振り返って、学んだことを自分の言葉でまとめる。 6 「広がる言葉」 (P170) に取り組み、語感を磨き語彙を増やす。 * [資] 「言葉を広げよう——喜怒哀楽を表す言葉」 (P334～335) を見て、語彙を増やすための参考にするとよい。	[知技] ・喜怒哀楽を表す語句の量を増すとともに、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [思判表] ㊦「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えている。 [思判表] ・「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考え、内容を解釈している。 [思判表] ㊦「読むこと」において、文章の構成や表現の効果について考えている。 [主] ・進んで人物像を捉えながら作品を読み深め、学習課題に沿って、場面の展開や表現の効果について話し合おうとしている。
書く〈描写・表現〉 人物を描写しよう P171 1時間	[知技] (1)エ [思判表] B(1) ウ ㊦ B(2)ウ	<ul style="list-style-type: none"> 人物像が伝わるように、人物の言葉や行動・態度などを描き出す。 	1 目標 (P171) を確認し、学習の見通しを持つ。 2 教材を読み、人物像が伝わるように作品の続きを書く。 *「言葉の力 人物を描き出す」を読んで、人物をいきいきと描き出すためのポイントを確かめる。 * [資] 「言葉を広げよう——人物像／喜怒哀楽を表す言葉」 (P332～333, 334～335) を見て、登場人物を描写する際の参考にするとよい。 3 「振り返り」を読み、学習を振り返って、学んだことを自分の言葉でまとめる。	[知技] ・人物像や喜怒哀楽を表す語句の量を増すとともに、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [思判表] ㊦「書くこと」において、表現の効果を考えて描写するなど、人物像が伝わる文章になるように工夫している。 [主] ・進んで学んだ作品の描写に着目し、学習課題に沿って人物を描写しようとしている。
言葉〈日本語探検〉 類義語・対義語——謎	[知技] (1)エ	<ul style="list-style-type: none"> 類義語と対義語について理解する。 	1 教材 (P172～173) を読んで、さまざまな類義語や対義語が話や文章の中でどのように使われているか	[知技] ㊦類義語と対義語について理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにして

の生物「フワポン」の秘密 P172 1時間			を大まかにつかむ。 2 「まとめ」(P173)を読んで、類義語と対義語について理解する。適宜、漢字を確認する。	いる。 [主] ・進んで類義語と対義語について理解し、見通しを持って学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。
読む(読書) 鰹節——世界に誇る伝統食 P174 2時間 他家庭	[知技] (3)エ [思判表] C(1)イ 活 C(2)ウ	・読書の意義を知り、目的に応じて情報を集め、レポートにまとめる。	1 タイトル下の問いかけ(P174)と「調べて一枚レポートにまとめよう」(P182)を確認し、学習の見通しを持つ。 2 「鰹節——世界に誇る伝統食」全文を通読し、鰹節について分かったことや調べてみたいことを話し合う。適宜、漢字を確認する。 3 「調べて一枚レポートにまとめよう」を参考に、さまざまな本や資料、インターネットで調べて分かったことを、一枚レポートにまとめる。 *「情報活用コラム インターネットで情報を集める」を読み、インターネットで調べる際の留意点を確認する。 *これまでに読んだ本や、「本で世界を広げよう(日本文化)」(P180~181)で紹介されている本を活用してもよい。 *資「私のおすすめの本」(P285)、「本の世界を楽しもう」(P286~289)を見て、今後の読書生活の参考にすることもよい。	[知技] ◎本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。 [思判表] ◎「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。 [主] ・進んで読書の意義について理解を深め、これまでの学習を生かして、調べたことをレポートにまとめようとしている。
7 効果的に表現する(1~3月 26時間)				
読む(言葉とメディア) 「正しい」言葉は信じられるか P184 5時間	[知技] (1)エ [思判表] B(1)エ, C(1)エ 活 C(2)ア	・文章を読んで、事実の述べ方が読み手に与える印象の違いについて考える。 ・構成や表現を工夫して、新聞記事を書き換える。	1 タイトル下の問いかけ(P184)や「てびき」の目標(P190)を確認し、「学習の流れ」(P184)を見て、見通しを持つ。 2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。 3 設問①~②(P185, 186)に取り組み、文章の内容を読み取る。	[知技] ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [思判表] ◎「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。 [思判表] ◎「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較し、文章の構成や表現の効果について考え

			<p>4 設問③（P190）に取り組み，A新聞，B新聞（P187）のそれぞれで使われている語句の与える印象について考える。</p> <p>5 設問④に取り組み，構成や表現を工夫して新聞記事を書き換える。</p> <p>6 設問⑤に取り組み，事実の述べ方による印象の違いについて話し合う。</p> <p>*「言葉の力 事実と言葉の関係を意識する」を読んで，事実と言葉の関係について理解する。</p> <p>7 「振り返り」を読み，学習を振り返って，学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>ている。</p> <p>【主】・積極的に構成や表現を工夫しながら新聞記事を書き換え，学習課題に沿って，事実の述べ方による印象の違いについて考えようとしている。</p>
<p>学びの扉／学びを支える 言葉の力〈論理的な言葉の力——議論する力〉 質問する・反論する P192／P238 1時間</p>	<p>【知技】(2)ア 【思判表】A(1) オ</p>	<p>・発言や論証を吟味し，質問したり反論したりする。</p>	<p>1 教材（P192）を読んで，詩織の父の発言を理解するにはどのような質問をしたらよいかを考える。</p> <p>2 基「質問する・反論する」（P238～241）を読んで，質問や反論の仕方について理解を深め，発言を理解するために質問したり，水かけ論にならないように反論したりする。</p> <p>*Dこの教材には，関連するデジタルコンテンツが用意されているので，適宜利用するとよい。</p>	<p>【知技】◎結論と根拠の関係や，その説得力について理解している。</p> <p>【思判表】◎「話すこと・聞くこと」において，発言や論証を吟味し，質問したり反論したりしている。</p> <p>【主】・進んで発言や論証を吟味し，学習課題に沿って質問したり反論したりしようとしている。</p>
<p>話す・聞く〈話し合う〉 話し合いで問題を検討しよう——リンクマップによる話し合い P193 6時間</p>	<p>【知技】(2)アイ 【思判表】A(1) アオ ㊦A(2)イ</p>	<p>・多様な立場や意見を想定して，テーマについてのメリット・デメリットを出し合う。</p> <p>・お互いの立場や意見を尊重しながら話し合い，結論を出す。</p>	<p>1 教材冒頭（P193）の問いかけと目標を確認し，「学習の流れ」を見て，見通しを持つ。</p> <p>2 手順①～③（P194～197）に取り組み，テーマを決め，リンクマップを使って話し合い，グループの意見をまとめる。</p> <p>*「言葉の力 テーマを検討するために，メリット・デメリットを書き出す／テーマについて検討し，結論を出す」（P194，196）を読んで，テーマを決めてメリットとデメリットを出し合ったり，テーマについて検討して一つの結論を出したりする際のポイントを確認</p>	<p>【知技】・意見と根拠，具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>【知技】・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。</p> <p>【思判表】◎「話すこと・聞くこと」において，目的に応じて社会生活の中から話題を決め，異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し，伝え合う内容を検討している。</p> <p>【思判表】◎「話すこと・聞くこと」において，お互いの立場や考えを尊重しながら話し合い，結論を導いた</p>

			<p>かめる。</p> <p>*前の「質問する・反論する」(P192/基P238~241)で学んだことを生かして取り組むとよい。</p> <p>3 「振り返り」(P197)を読み、学習を振り返って、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>めに考えをまとめている。</p> <p>[主]・積極的にテーマについてのメリット・デメリットを出し合い、学習の見通しを持って、お互いの立場や意見を尊重しながら話し合おうとしている。</p>
<p>学びの扉／学びを支える言葉の力〈文学的な言葉の力——表現する力〉想像を誘うように表現する</p> <p>P198/P246 1時間</p>	<p>[思判表] B(1)ウ</p>	<p>・描き方を工夫して、想像を誘う表現をする。</p>	<p>1 教材(P198)を読んで、興味をひきつける表現の仕方について考える。</p> <p>2 基「想像を誘うように表現する」(P246~249)を読んで、想像を誘う表現の仕方について理解を深め、状況が徐々に見えてくるように描写する。</p> <p>*Dこの教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	<p>[思判表] ◎「書くこと」において、表現の効果を考えて描写している。</p> <p>[主]・進んで想像を誘う表現の仕方について理解し、学習課題に沿って、状況が徐々に見えてくるように描写しようとしている。</p>
<p>書く〈感性・想像〉いきいきと描き出そう——短歌から始まる物語</p> <p>P199 6時間</p>	<p>[知技] (1)エ [思判表] B(1)ウオ 活B(2)ウ</p>	<p>・人物や情景をいきいきと表すように、描写を工夫して物語を作る。</p> <p>・描写の工夫などについて、読み手からの助言を踏まえ、自分の物語のよい点や改善点を見いだす。</p>	<p>1 教材冒頭(P199)の問いかけと目標を確認し、「学習の流れ」を見て、見通しを持つ。</p> <p>2 手順①~⑤(P200~205)に取り組み、短歌から想像を膨らませて物語を創作する。</p> <p>*「言葉の力 豊かに描写する/感想交換の観点を持つ」(P203, 205)を読んで、想像を誘う豊かな描写の仕方や、作品を読んで感想を交換する際のポイントを確認する。</p> <p>*前の「想像を誘うように表現する」(P198/基P246~249)で学んだことを生かして取り組むとよい。</p> <p>*資「言葉を広げよう——人物像を表す言葉」(P332~333)を見て、登場人物の人物像を考える際の参考にするとよい。</p> <p>*創作の材料として、短歌以外に、俳句、写真、絵画などを用いてもよい。</p> <p>3 「振り返り」(P205)を読み、学習を振り返って、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>[知技]・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>[思判表] ◎「書くこと」において、表現の効果を考えて描写するなど、魅力的な文章になるように工夫している。</p> <p>[思判表] ◎「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。</p> <p>[主]・描写を工夫したり、読み手の助言を踏まえて改善点を見いだしたりすることに粘り強く取り組み、学習の見通しを持って物語を書こうとしている。</p>

<p>言葉（漢字道場） 同音異義語</p> <p>P 206 1 時間</p>	<p>【知技】(1)ウエ</p>	<p>・同音異義語について理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</p>	<p>1 「共通する漢字を持つ同音異義語」（P206）を読んで、共通する漢字を持つ同音異義語について知り、「問題」①～②に取り組む。</p> <p>2 「共通する漢字を持たない同音異義語」（P207）を読んで、共通する漢字を持たない同音異義語について知り、「問題」③～④に取り組む。</p>	<p>【知技】・同音異義語について理解し、漢字を文や文章の中で使っている。</p> <p>【知技】◎同音異義語について理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>【主】・進んで同音異義語について理解し、見通しを持って学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。</p>
<p>読む（詩（詩の言葉）） わたしが一番きれいだったとき</p> <p>P 208 2 時間</p> <p>他社会（歴史）</p>	<p>【思判表】C(1) イオ</p> <p>活C(2)イ</p>	<p>・人物の心情に注意して、詩に込められた思いを考える。</p> <p>・自分の知識や経験と結び付けながら、感想を深める。</p>	<p>1 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。</p> <p>2 それぞれの連の言葉にどんな心情が表されているかを捉える。また、各連で繰り返される「わたしが一番きれいだったとき」という言葉に込められた思いを考える。</p> <p>3 この詩に表れているものの見方や考え方について、自分の知識や経験と結び付けながら感想を話し合う。</p>	<p>【思判表】◎「読むこと」において、人物の言動の意味などについて考え、内容を解釈している。</p> <p>【思判表】◎「読むこと」において、詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>【主】・進んで詩に込められた思いについて考え、学習課題に沿って感想を話し合おうとしている。</p>
<p>読む（読書） 坊っちゃん</p> <p>P 210 4 時間</p> <p>他社会（歴史）</p>	<p>【知技】(3)エ</p> <p>【思判表】C(1) オ</p> <p>活C(2)イ</p>	<p>・文学作品を読み、登場人物の行動や人柄、考え方について考えを深める。</p>	<p>1 タイトル下の問いかけ（P210）を確認し、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字を確認する。</p> <p>3 登場人物の行動や人柄、考え方についてどう思うか話し合う。</p> <p>4 「作家と作品」（P222～223）を読み、夏目漱石について知る。</p> <p>5 「名作を読もう」（P224～225）を見て、日本や海外の文学作品を知り、読書意欲を高める。</p> <p>*資「私のおすすめの本」（P285）、「本の世界を楽しもう」（P286～289）を見て、今後の読書生活の参考にすることもよい。</p>	<p>【知技】◎本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。</p> <p>【思判表】◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>【主】・進んで読書の意義について理解を深め、これまでの学習を生かして、さまざまな本を読もうとしている。</p>